

第三者評価結果

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている

第三者評価結果

【1】 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている

a

- ・ホームページ、パンフレットにおいて、理念、基本方針等を記載し、園の玄関にも掲示している。
- ・職員は入職時の就業オリエンテーション（入社研修）において説明を受けている。
- ・理念は法人の動画研修、保育目標は研修やクラスに掲示して周知に努めている。
- ・保護者に対して入園時には、重要事項説明書兼入園のしおりを用いて説明して理解を促している。
- ・業務開始前に職員の心得としてのアートチャイルドケアの誓いを唱和し、更衣室に掲示して、周知に努めている。
- ・保護者に対して入園時に、重要事項説明書兼入園のしおりを用いて説明をしたり、園だより等で周知を図っている。

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している

【2】 I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている

a

- ・法人運営部において運営課題（コスト分析や利用者の推移、利用率等）の分析を行い、施設長会議で共有されている。
- ・保護者や見学者などとの会話からも意見や要望を把握し、地域の子育てニーズの収集に取り組んでいる。
- ・保護者対応を通して把握したニーズについては、朝礼時に共有できるようにしている。
- ・中原区の施設長会議において、待機者の状況などについても収集し、必要に応じて本部と検討している。

【3】 I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている

a

- ・経営状況や改善課題については、法人の施設長会議経由で職員へ伝えられ、具体的に取り組めるようにしている。
- ・園の課題については、エリアマネージャーや必要に応じて法人運営部門も加わり対応することになっている。
- ・新型コロナウイルス対策については、本社から方針を示され、園の判断や行政の方針に沿って保護者に発信して進めている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている

第三者評価結果

【4】 I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている

b

- ・法人として理念の実現に向けた3カ年経営方針を掲げており、施設長会議経由で職員へ伝えられ、具体的には取り組めるようにしている。合わせて、中・長期の収支計画も策定されている。
- ・法人として3つの基本戦略に「新たな保育理念の実現～自分らしく」を加えて、園の状況に合わせて推進を促している。
- ・中・長期計画の達成度合いを図る数値目標や具体的な成果を設定し、実施状況の評価を行うことも望まれる。

【5】 I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている

b

- ・法人の統一書式に従って単年度の事業計画を策定しており、数値目標や具体的な成果等を設定している。
- ・本年度は新型コロナウイルス対策などで様々な変更などを余儀なくされおり、年度末に総括することになっている。
- ・個々の事業計画についても、法人の中長期計画の骨子を分かりやすく盛り込むことも望まれる。
- ・計画の進捗（達成）状況を、定期的に確認（チェック）し、必要に応じて修正する仕組みを構築することが望まれる。

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている

【6】	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年ナンバーワン宣言を園で掲げ、理念と課題を元にテーマを決めている。 ・「子ども、保護者のためにどのような取り組みをしたか」「それを達成したことで、どのように保育環境に影響があったか」など改善されたかを半期ごとに確認し、再度課題を出して達成に向けて取り組みを評価している。 ・達成状況を確認するチームがあり、園の年間テーマの達成を通して保育の質の向上につなげている。 		
【7】	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している	b
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画は保護者がいつでも閲覧できるよう玄関に配置している。 ・事業計画については、個別や運営委員会では年初に伝え、変更点については適宜伝えることにしている。 ・事業計画の主な内容を、分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法も検討されたい。 		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている

第三者評価結果

【8】	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・年1回CSアンケートを実施して結果を公表し、さらに運営委員会でも意見を傾聴して保育に反映出来るようにしている。 ・行事後にも保護者アンケート実施しており、便りで結果をフィードバックし、さらに次年度の改善につなげている。 ・第三者評価の結果は、職員全体で保育内容や保育士としての在り方を考える良い機会みつなげている。 ・「ナンバーワン宣言」によって、毎年一つの目標をかかげて取り組み、保育の質の向上につなげている。 ・内部監査によって、評価や改善点の指摘を受け、具体的な改善策の抽出に繋がっている。 		
【9】	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意見は職員会議で話し合い、議事録に残すなどして園全体で改善に取り組み、次年度に繋げている。 ・保育所自己評価はホームページにおいて、評価、年度末の評価・反省、次年度へ向けた保育所としての課題を公表している。 ・保護者アンケートは職員で閲覧し、共有、話し合いを行って課題を抽出してどのように改善するかを記録し対応している。 		

評価対象II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている

【10】	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・施設長の役割、責任、職務については就業規則に明示され、入職時に説明され、人事考課項目にも詳しく定められている。 ・施設長は年度初めには、取り組みたいことについて職員に伝え、理解を得て事業の方向性を示唆している。 ・運営組織図や職務分担表を作成して分掌業務を明確にし、質の向上につながるようにしている。 ・災害、事故等における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。 		
【11】	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・自治体、行政等の開催する研修、監査説明会などの勉強会に参加して、変更点などを職員に伝え周知に努めている。 ・事件事案の注意喚起の取り組みとして、本部よりメールが届いた際には、朝礼等で職員へ適宜伝えることにしている。 ・施設長会議においても、尊厳の尊重をテーマとして研修を行い理解を深められるようにしている。 ・虐待、守秘義務などについて園内研修を行い、職員にコンプライアンス遵守について理解を促すよう取り組んでいる。 ・虐待や育児困難が疑われるケースがあった場合は、記録を残しながら経過を観察して関係機関へ通報することにしている。 ・虐待や育児困難に関する研修を園内にて実施し、職員の注意喚起を促している。 		

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている

第三者評価結果

【12】	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・CSカードの結果をもとに職員間で検討し、「No.1宣言（年間目標）」を立案し、保育の質の向上に努めている。 ・人事考課表、行事報告書、自己評価を踏まえ、職員会議、リーダー会議などで話し合い、質の向上に努めている。 ・園内研修を設定し、様々な知識を身に付け保育の向上につながるようになっている。 ・園の自己評価を定期的実施して課題を抽出し、保護者に開示して保育の質向上につながるよう進めている。 		
【13】	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・経営の大枠の部分に関しては本社が主体的に行い、施設長を中心に運営レベルで実効性を高めている。 ・本社で毎月開催される施設長会議において経営内容を把握し、それを園に持ち帰り、改善や実効性の向上に役立てている。 ・園内の人事に関しては施設長権限としており、異動などは本社と連携して進めることにしている。 ・継続的な取り組みとして、コピー用紙の裏紙の活用、使用していない部屋の消灯などの節電などに力を入れている。 ・牛乳パック、トイレットペーパーなどを使ってのリサイクルなどによる手作り玩具に取り組み、環境に配慮している。 		

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている

【14】	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている	b
<ul style="list-style-type: none"> ・採用実務などの人材確保については法人本部の専任業務になっており、必要な人材は法人と連携して採用している。 ・採用を推進するために、給与形態の見直し、地域限定採用、最初は希望園の配属制度などに取り組んでいる。 ・新卒が入社した際は研修を行い、メンターがそれぞれに付き、保育のみならず社会人としての育成に取り組んでいる。 ・10月より無資格職員の採用を開始するなど、本人の意欲を中心に既存の枠に囚われない職員採用に取り組んでいる。 ・計画にもとづいた人材の確保については継続した課題としている。 		
【15】	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保は法人として継続的に取り組んでおり、定着のための環境整備、質の向上、育成策を講じている。 ・施設長にはキャリアや運営実績によってランクがあり、手当等に差があるなどの制度があり、努力目標が明示されている。 ・人事考課制度による面談をじっししており、保育の振り返りや目標の達成度を確認し、改善策を検討している。 ・職員の意向は勤務の継続意向調査を行っており、エリアマネージャーと相談して意向を反映できるようにしている。 ・就業規則には役職ごとの待遇などが示され、職員の将来を展望できるようになっている。 		

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている

第三者評価結果

【16】	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる	a
<ul style="list-style-type: none"> ・職員との日頃の関わりをはじめ面談や職員アンケートを通じて、個々の意見を把握して園運営の参考にしている。 ・時短勤務（ナーシングなでしこ）や、介護休暇、生理休暇などが利用できるようにしている。 ・年次有給休暇の消化や時間外労働の状況を確認し、月次でチェックを行い、公平な職場環境作りに取り組んでいる。 ・福利厚生において職員の健康維持やリフレッシュ休暇、ストレスチェックなどを利用できるようにしている。 ・ベストパートナーという仕組みを設けており、園を超えて直接相談や要望を伝えることができる仕組みが整っている。 		

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている

【17】	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課、研修計画にそれぞれ自己目標を設定し、毎月の反省と年2回以上の施設長との面談で達成状況を確認し合っている。 ・半年後には、その目標への達成度に合わせ、再度目標を設定できるようにしている。 ・毎月の反省については取り組みの結果を詳しく記述して、施設長や副主任からアドバイスを受けられるようにしている。 ・日ごろから施設長、副主任は職員とのコミュニケーションを大切にしている。 ・派遣職員も含めて、モチベーションの差がなく園運営が行われるようにしている。 		

【18】	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課、研修計画にそれぞれ自己目標を設定し、毎月の反省と年2回以上の面談で達成状況を確認し合っている。 ・多様な研修があり、各種研修参加後はレポートを提出し、施設長が確認後、回覧により共有化を図っている。 ・必須研修として行われるものと保育に関するものが整理されており、職員一人ひとりの資質向上に役立っている。 ・職務規定に必要な専門技術や専門資格を明示している。 ・今年度から始まった無資格職員についても資格取得のために必要な研修の体制を整えている。 ・今年度開催した本社教育研修部主催の選択式研修では、「保育理念」「養護」「食育」「救護」「眠育」などをテーマに全職員が関心のあるものを選択し、研修後職員同士ディスカッションをして内容の理解を深めている。 		

		第三者評価結果
【19】	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・新卒職員にはメンターが付き、OJTを行いしくみが整っている。 ・園内研修では「感染症対策研修」「児童虐待及び人権侵害研修」「個人情報と守秘義務」「安全対策チェック及び緊急時対応」等を行っている。 ・階層別の研修は入職3年目までは本部が必須研修のルールを決めて、以降は選択研修が用意されている。 ・会社ではBML（社内研修制度）を実施しており、アートチャイルドケア系列園の中で、他園の保育内容を一日を通して体験し、普段とは違う環境の中で保育をすることで新たな学びや情報交換、気づきの場としている。 ・職員会議において研修発表の場を設けて各自が発表し、すべての職員が知識や技術を高められるようにしている。 		

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている

【20】	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている	b
<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルに準じ、園の状況を鑑みたうえで実習生の受け入れを行うことにしている。 ・実習オリエンテーションでは実習生の手引きをもとに、園の保育方針や社会人としてのマナーを伝えることにしている。 ・今年度は新型コロナウイルス対策の一環として、実習生の受け入れは行っていない。 		

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている

【21】	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、パンフレットにおいて、理念、基本方針等を公表している。 ・苦情対応、自己評価結果、第三者評価結果を示して園の透明性を確保している。 ・園の玄関に第三者評価の結果、苦情相談体制、園だより、保健だよりなどを閲覧できるように配置している。 		

		第三者評価結果
【22】	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・年に一度、本部職員が来園し内部監査を実施しており、透明性の高い適正な経営と運営に向けて取り組んでいる。 ・業者選定は本部が行っており、実際の発注のみ園が行っている。 ・支払いは本部が担当し、園では小口現金の管理のみとしている。 ・稟議の申請もシステム上で行い、承認を得る仕組みとなっている。 ・内部監査同等の施設長による自主点検を行ってアドバイス・チェックとしている。 		

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている

[23]	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている	b
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画には園の行事に地域の方にも開放し、その際に育児相談なども実施することを計画している。 ・ホームページを通じて情報提供しているが、育児相談や子育て講座等の具体的な開催には至っていないため課題としている。 ・小学校訪問の機会を作るなど、少しずつ地域との関りが作れるように進めている。 		
[24]	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している	c
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れルールは設定されていないため、受け入れも行っていない。 		

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている

第三者評価結果

[25]	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関のリストは作成されており、事務室及び、保護者も目にする事ができるよう玄関脇にも掲示している。 ・自治体と連携し、ケガをし受診等した場合は連絡を入れるようにしている。 ・子育て支援センターや療育センター、学童、近隣のイベント等の案内を掲示・配布している。 ・系列のアートSEDスクールでは児童発達支援事業を行っており、連携を図っている。 		

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている

[26]	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の運営委員会を実施しており、保護者の声や意見交換、外部委員からの助言、アドバイス等を受ける機会を設けている。 ・新興地域ですることも踏まえ、区の保育支援担当者の巡回時にエリアの情報を収集している。 ・幼保小連携会議などを通じて地域の福祉ニーズ収集に努め、特に小学校とは連携を取り始めている。 ・区の施設長会議や見学の際の保護者との会話から地域の子育てニーズを把握して、園運営に反映させることに取り組んでいる。 		
[27]	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達に不安がある保護者に対して相談や提案に加え、必要であればSEDスクールを紹介し、発達支援を行っている。 ・5歳児を対象とした「なかはらっこシアター」や「川崎市保育祭り」に参加して、近隣保育園との交流を行っている。 ・眠育を推奨しており、希望する家庭には睡眠ログを取ってもらい、専門家の査定と相談等を受けるシステムを設けている。 ・災害時の食料備蓄は3日分(子どもと職員)用意しているが、災害発生時に福祉的な支援を必要とする住民の安全・安心のための備えや支援の取り組み充実することも望まれる。 		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている

第三者評価結果

[28]	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修として毎年「児童虐待及び人権侵害研修」を行い、職員会議でも話し合いを持つようにしている。 ・子どもの失敗を認めるという方針が挙げられており、研修や振り返りを通して意識付けに取り組んでいる。 ・子どもの日々の様子は、口頭での申し送り、朝礼、連絡アプリなどで情報を共有している。 ・クラスノートを使ってシフトの引継ぎを行い把握できるように努めている。 ・性差への先入観については、日々の保育の中で気づいたことがあれば共有し、固定的な対応をしないよう努めている。 		

【29】	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・公開してもいい情報と個別の情報については区分けして、全職員への周知に努めている。 ・子ども同士のトラブルについては、公平性の視点から幼児クラスでは双方の保護者に伝えることにしている。 ・職員には園で知った情報を園外で話さないようにすることを促しており、プライバシー研修でも伝えている。 ・規定、マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した福祉サービスが実施できるよう取り組んでいる。 ・幼児については「かみつき」などがあった場合、園の共通認識として双方の保護者に相手の氏名は伝えることにしている。 		

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている

【30】	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでは園の情報詳しく掲載しており、利用希望者への丁寧な情報提供に取り組んでいる。 ・園見学は電話で受け付けて日程調整を行い、施設長が説明や案内をすることにしてる。 ・見学時には利用にあたっての説明に加え、質疑応答にも丁寧な対応を心がけている。 ・川崎市のホームページでは保育方針、概要、保育標準時間、保育短時間、年間の主な行事、独自の保育サービスと保育料以外の保護者負担、保護者との約束事、第三者評価を確認することができるようになっている。 ・市へは定期的に運営情報を提供してれんけいを図っている。 		

第三者評価結果

【31】	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・新入園説明会を実施しており、入園のしおりや重要事項説明書をもとに保護者への個別の質問や疑問にも応答している。 ・入園時の個人面談では聞き取り表をもとに行い、食事・睡眠などにおける子どもの様子を詳しく聞き取ることにしている。 ・把握した各種の情報を職員間で共有し、入園後スムーズに保育園生活へ移行できるようにしている。 ・変更点があった際には、都度説明を行って理解できるように対応している。 ・保護者の状況によって個別に説明するなどの対応を行なっている。 		

【32】	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている	b
<ul style="list-style-type: none"> ・退園後も相談に乗ることを保護者に伝えているが、口頭のみでの対応であるため文書でも示すことも必要とされる。 ・転出先から要望があれば引き継ぎに必要な書類の提供を行うなど、保育の継続性に配慮している。 ・転園先などから情報提供の依頼を受けた際には、保護者からの同意書を得て情報提供を行うことにしている。 		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている

【33】	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・本社主導のもと毎年10月にCSカード（顧客満足度）を実施し、園では結果をもとに検討・対応を進めている。 ・アンケート結果は保護者に公開するとともに、職員には施設長から説明し、対応に取り組んでいる。 ・「良い点」や「不満点」の原因を組織一丸となって探求し、改善に繋げ満足の向上に取り組んでいる。 ・保護者参加型の行事では、開催後にアンケートを実施して保護者の意見や満足度を把握し、職員会議などで検証に取り組んでいる。 <p>また、行事アンケート結果は、集計を行い別紙にて結果を保護者に伝えることにしている。</p>		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている

【34】	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・CSアンケート（匿名）の実施や結果の公表、年2回の第三者委員が参加する運営委員会を開催している。 ・玄関に意見箱を設置し、下駄箱の上で職員には見えない場所に配置している。 ・苦情解決制度が設けられており、苦情対応の方法としてお客様問い合わせ（フリーダイヤル）設置、掲示もしている。 ・すべての苦情はホームページで公表し、事業の透明性を担保している。 		

第三者評価結果

【35】	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・園の玄関に、相談窓口等の掲示を明確にしている。 ・本社への直接相談も受け付けており、マネージャーを通して園に共有し対応する仕組みとなっている。 ・朝夕の保護者対応時に保護者に声をかけ、いつでも話せるような対応を施設長は率先垂範して取り組んでいる。 ・保護者からの相談はいつでも対応しており、必要に応じて職員室、休憩室を利用できるようにしている。 		
【36】	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・園内の案件については、施設長の裁量範囲の中で判断して返答し、迅速に対応することになっている。 ・法人レベルの運営に関わる内容に関しては、本部職員に相談して確認を得て対応することになっている。 ・園内だけで解決できない問題については、マネージャーや本社と情報を共有し、速やかに対応ができるようにしている。 ・登園時は家庭の様子を聞き、降園時にはその日の様子をできるだけ伝え、連携を図ることに力を入れている。 ・年1回CSアンケートを実施し、結果を踏まえて改善に取り組んでいる。 		

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている 第三者評価結果

【37】	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全に関わる外部のニュースなどは、本社教育研修部より適宜メールで配信され、注意喚起を促している。 ・ヒヤリハットや軽傷報告書・事故報告書などを設けており、職員全体で共有し再発防止に努めている。 ・BCPは本社で作られたフォーマットをベースに園で固有の内容を記述して策定している。 ・施設長は地域のハザードマップを確認して安全に努めている。 ・散歩マップには、危険箇所をポストイットを色分けして示して、共有できるようにしている。 		
【38】	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症マニュアルは本部にて検討・改定し、さらに行政の指示なども盛り込み「ガイドライン」としている。 ・本部から新型コロナウイルス対策の複数の方法が示され、当該園で可能な対策を最大限行うルールで対応している。 ・新型コロナウイルス対策は、様々な場合を想定してフローを作成したり、行政の指示に沿って対応が行えるようにしている。 ・入園のしおり等で、感染症発生時の対応や登園基準について保護者に周知している。 ・発生時期前には必ず研修を行っており、新人職員にはさらにマンツーマンでの指導を行っている。 		
【39】	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・入園時に配付している重要事項説明書兼入園のしおりに記載しており、入園説明会では口頭でも説明、周知している。 ・毎月避難訓練を実施し、水害、地震、火災、不審者、引き渡し訓練など、防災計画に基づき訓練を実施している。 ・年に一回、保護者の参加のもとに「引き取り訓練」を行い、さらに自衛消防隊を編成して訓練にあっている。 ・備蓄は栄養士と相談しながら管理し、基本的にアレルギーフリー（乾パンを除く）でクラスに分割して備蓄している。 ・災害時を想定した食料備蓄は3日分用意しており、チェックリストを用いて賞味期限の管理をしている。 ・アレルギー児への対応として、ゼッケンを用意して確認できるようにし安全に努めている。 		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している 第三者評価結果

【40】	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・法人共通のマニュアルをはじめ、園内研修や外部研修などによって、標準的な実施方法についての周知徹底を図っている。 ・重要事項説明書兼入園のしおりや法人共通のマニュアルをもとに、全ての職員に基本的な事項を説明している。 ・内部監査などを通して保育の実践を確認している。 ・人事考課面談や第三者評価などを通じて振り返りを行い、標準的なサービスの提供ができるよう取り組んでいる。 ・園内研修や、外部研修を受講し標準的な実施方法についての周知徹底に努めている。 		

【41】	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修や社内研修を通して、標準的な実施方法についての見直しを行っている。 ・会社として保育について協議する場があり、保育理念や保育目標を見直す場が設けられている。 ・自治体監査結果や、第三者評価受審の結果をもとに職員会議等で見直しを行っている。 ・行事毎のアンケート、日々の意見・要望（口頭、連絡帳）、CSアンケート等の結果を踏まえ検討する仕組みが確立している。 		

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている

【42】	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・施設長がマネージャーと相談しながら全体的な計画を策定している。 ・全体的な計画をもとに、クラスごとの年間計画を策定し、それをもとに、月案、週案に落としこんでいる。 ・食育計画や保健計画については、専門職も一緒に作成に取り組んでいる。 ・指導計画はルールに沿って作成し、前年度の書類はいつでも見られるように保管し振り返りができるようにしている。 ・月に一度本社で行われる施設長会議にて、指導計画について様々な情報交換や話し合いを行っている。 		

第三者評価結果

【43】	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢・事案・法令改定など、地域福祉のニーズの変化等を鑑み、適宜、指導計画を見直している。 ・年間指導計画の見直しは、四半期ごとにクラス会議で見直し、見直した結果を職員で共有・協議を行っている。 ・変更したものは職員会議、回覧等で全職員が確認できるようにしている。 		

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている

【44】	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・乳児クラスは、個人記録を作成しており、職員全体で一人ひとりの様子を把握し、保育に取り組んでいる。 ・子どもに関する記録は連絡用アプリから入力し、成長過程を定期的に記録できるようにしている。 ・各種の記録については、全て施設長などが確認し、必要に応じ記録内容や表現方法に差異が出ないように取り組んでいる。 ・朝礼や職員会議、リーダー会議での情報共有のほか、引継ぎノートや議事録を回覧し、全体が把握できるようにしている。 		
【45】	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修を通して個人情報保護規程等の周知徹底、遵守に取り組んでいる。 ・アプリは職務によって権限が整理されており、必要な情報は閲覧、書き込みが可能となっている。 ・アプリはパスワードで管理され、利用に関しても制御されている。 ・情報漏洩に関する園内研修を年度始めに行って周知徹底に努めている。 		